

研究課題名：認知・実態ネットワークによる社会情報の構造化

～金融と法情報の知識構造化と動態分析～



＜研究概要＞

社会情報を「社会の実態」と「人が捉えた世界」に分け、ネットワークやセマンティック・ウェブの技術を用いて構造分析する分析手法を創出します。本研究では、金融などの詳細なデータが豊富に取得できる分野だけでなく、これまで統計的手法があまり適用されてこなかった法分野においても技術開発を行います。法に関しては、知識の構造化による大規模自然言語モデルの限界打破だけでなく、国際共同研究を通じ日米欧の数量比較法学や規範進化過程の分析も行います。

ひさのりようへい

氏名：久野遼平

所属機関：東京大学大学院 情報理工学系研究科 数理情報教育研究センター 兼 数理情報学専攻

役職：講師

(25/25010)

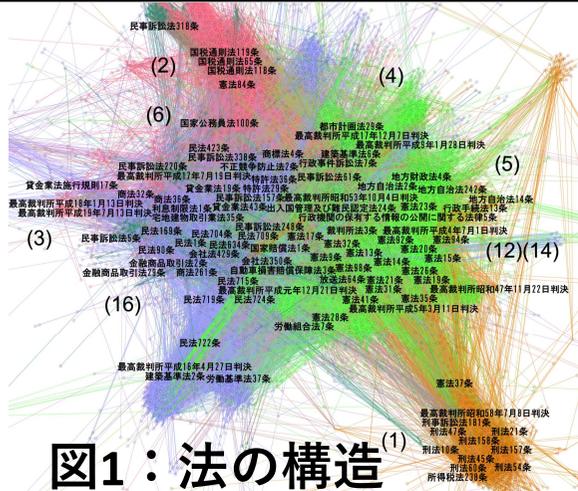


図1：法の構造

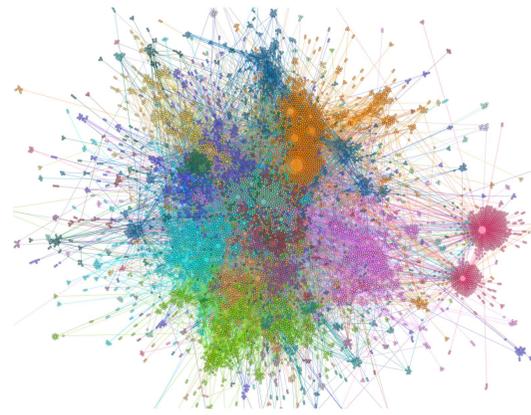
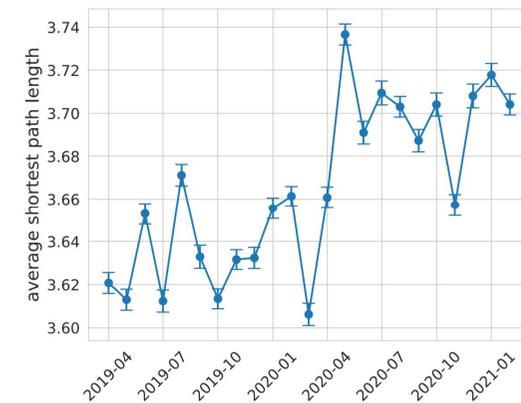


図2：銀行送金ネットワークとその構造変化



＜略歴＞ 2007年3月 慶応義塾大学経済学部卒業、2010年3月 一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了、2013年8月 ETH Zürich博士課程修了 (Doctor of Sciences ETH Zürich)。2013年9月 同大学博士研究員。2013年10月～2014年3月 国立情報学研究所 特任研究員。2014年4月-2015年12月 日本学術振興会特別研究員PD (東京大学)。2015年12月～2020年3月 東京大学大学院 情報理工学系研究科ソーシャルICT研究センター 特任助教。2020年4月より東京大学大学院 情報理工学系研究科 数理情報教育研究センター 兼 数理情報学専攻 講師